



いすぐみだより ～分園1歳児～



令和6年 2月 1日 発行

寒さがまた、一段と増す時期となりました。子どもたちは冷たい風に頬や鼻を赤らめながらも、元気に遊んでいます。

先月は、発表会に向けて表現遊びを多く取り入れていきました。最初のうちは、曲を流したり、保育者が歌ったり、身体を動かしていても見てのだけの子が多くいましたが、何度も繰り返し行っていくうちに、保育者と一緒に歌ったり、踊るようになり、今では毎日歌う声で室内が賑やかです。また、くぐる、ジャンプ、転がるなど全身を動かす動きもたくさん行いました。普段から遊んでいることもあり、巧技台やトンネルなどを出すと嬉しそうに笑顔を浮かべて何度も繰り返し行っています。普段から慣れている室内では楽しく行っているものの、いざ本園のホールへ行き、舞台にあがると立ち尽くしたり、泣いてしまう子もいました。しかし、保育者や友だちと一緒に舞台にあがる経験を繰り返していくうちに、自分の出番でないときも舞台袖から歌ったり、一緒に手遊びをするなど舞台上で表現することに慣れてきた様子が見られるようになってきています。

発表会当日は普段と違う雰囲気によって圧倒されてしまい、泣いてしまうこともあるかもしれません。一生懸命に頑張っている子ども達の姿を見守り、温かい拍手をお願いします。



＜今月のねらい＞ ・手指を使った遊びにじっくり取り組む。

＜今月の活動＞ 散歩（徳親公園、本町公園など）
運動遊び（またぐ、くぐる、跳ぶ、走るなど）
指先遊び（ひも通し、クレヨン、粘土、砂遊びなど）など

おねがい

汚れた時に着替えられるよう
常に園に3セット分の着替えを
ストックしておきたいため、
前日持ち帰った枚数の洋服を
翌日に補充用としてお持ちください。

